



JASDAQ

2020年11月30日

会社名 テクノホライズン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 水上 康
電話 052-823-8551

工場経営マネジメントソリューションとしてタブレットシステム 「TABLET Communicator 設備状況」パッケージ版発売のお知らせ (当社連結子会社：株式会社タイテック)

当社の連結子会社である株式会社タイテックが、製造現場のデジタル化の時代に対応した『ファクトリーマネジメントソリューション』シリーズ第五弾として、「TABLET Communicator 設備状況」パッケージ版を2020年11月30日に発売しましたので、下記のとおりお知らせいたします。



TABLET Communicator 設備状況

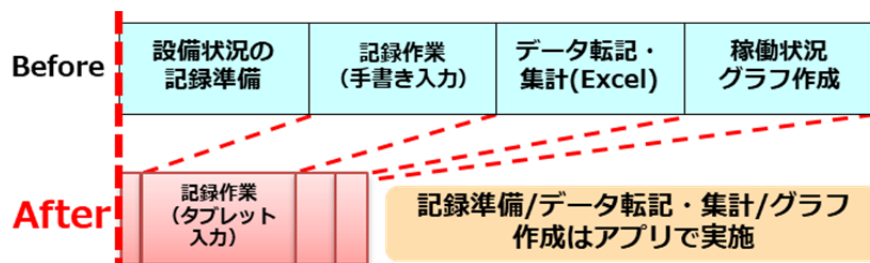
IoT 技術の進展により、製造設備からデジタルデータを直接収集することは、各現場で意欲的に取り組まれています。しかしながら、人作業(オペレーター作業)のデジタル化については進んでおらず、作業者の付加価値の把握や向上に苦慮されているケースが多く見られます。

「TABLET Communicator」は、こうした状況を変えるべく、工場の人・もの・機械・検査記録の情報をリアルタイムに収集することで、製造現場のあらゆる情報をデジタル化し、現場改善や経営判断の迅速化を実現する IoT ソリューションとして 2017 年に発売されました。

その後、機能強化を重ね、2018 年には外観検査記録や作業状況をリアルタイムで収集し、品質向上対策や作業効率化を実現したソリューション「TABLET Communicator 検査集計」を第三弾として発売。2019 年には組立／最終検査の複数ステップ作業の標準化、集計の自動化、作業の見える化による現場／管理者の作業の省力化を実現したソリューション「TABLET Communicator 作業記録」を第四弾として発売いたしました。

この度、シリーズ第五弾として発売したソリューション「TABLET Communicator 設備状況」は、設備管理に必要な「稼働状況」、「停止理由」、「設定条件」、「実測値」などのデジタル化と一元管理により工場のレベルアップを実現します。

【TABLET Communicator 設備状況導入による作業時間の変化】



1. 設備状況ソリューションの特長

- ・設備付帯業務となる記録作業のデジタル化/効率化
設備が古い場合、稼働状況や設備条件/実績記録を紙に記録しているケースが多く、その記録業務をタブレットにてデジタル化し、効率化を図ります。
- ・集計の自動化
設備状況を自動集計し、設備の稼働状況ガントチャートを表示できます。

2. 導入費用・ライセンス費用 (ご参考)

【導入費用】 (ハードウェア費用は含まれておりません)

- ・弊社でデータの登録や画面デザイン変更を代行する場合には、代行内容に応じた作業費が発生します。また、ソースコード修正を伴うカスタマイズが必要な場合には、その内容に応じたカスタマイズ費用が発生します。

【ライセンス費用】 ※ボリュームディスカウントあり

- ・基本ライセンス：1工場あたり、100,000円 / 1か月
- ・アプリケーションライセンス：1ライセンスあたり、2,000円 / 1か月

・本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

詳細につきましては、添付資料【株式会社タイテック プレスリリース：工場経営マネジメントソリューションとしてタブレットシステム「TABLET Communicator 設備状況」のパッケージ版をリリース】をご参照ください。

以上

PRESS RELEASE

製造業の現場・管理・工場経営を全体最適に導く
『ファクトリーマネジメントソリューション』シリーズ第五弾

工場経営マネジメントソリューションとしてタブレットシステム 「TABLET Communicator 設備状況」のパッケージ版をリリース

※既存パッケージ「TABLET Communicator 検査集計」「TABLET Communicator 作業記録」を強化

テクノホライゾングループ（JASDAQ 証券コード：6629）の株式会社タイテック（本社：名古屋市南区千竈通二丁目13番地1 代表取締役社長：廣瀬 隆志）は、製造現場のデジタル化の時代に対応した『ファクトリーマネジメントソリューション』シリーズ第五弾として、「TABLET Communicator 設備状況」パッケージ版の提供を2020年11月30日に開始しました。



TABLET Communicator 設備状況

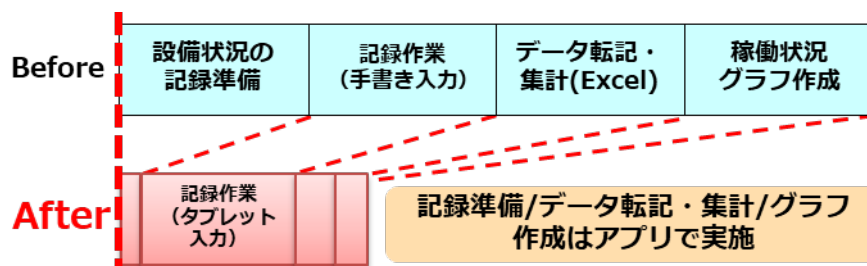
IoT技術の進展により、製造設備からデジタルデータを直接収集することは、各現場で意欲的に取り込まれています。しかしながら、人作業（オペレーター作業）のデジタル化については進んでおらず、作業者の付加価値の把握や向上に苦慮されているケースが多く見られます。

「TABLET Communicator」は、こうした状況を変えるべく、工場の人・もの・機械・検査記録の情報をリアルタイムに収集することで、製造現場のあらゆる情報をデジタル化し、現場改善や経営判断の迅速化を実現するIoTソリューションとして2017年に発売されました。

その後、機能強化を重ね、2018年には外観検査記録や作業状況をリアルタイムで収集し、品質向上対策や作業効率化を実現したソリューション「TABLET Communicator 検査集計」を第三弾として発売。2019年には組立/最終検査の複数ステップ作業の標準化、集計の自動化、作業の見える化による現場/管理者の作業の省力化を実現したソリューション「TABLET Communicator 作業記録」を第四弾として発売いたしました。

この度、シリーズ第五弾として発売したソリューション「TABLET Communicator 設備状況」は、設備管理に必要な「稼働状況」、「停止理由」、「設定条件」、「実測値」などのデジタル化と一元管理により工場のレベルアップを実現します。

【TABLET Communicator 設備状況導入による作業時間の変化】



1. 設備状況ソリューションの特長

- ・ 設備付帯業務となる記録作業のデジタル化/効率化
設備が古い場合、稼働状況や設備条件/実績記録を紙に記録しているケースが多く、その記録業務をタブレットにてデジタル化し、効率化を図ります。
- ・ 集計の自動化
設備状況を自動集計し、設備の稼働状況ガントチャートを表示できます。

2. 導入費用・ライセンス費用

(ご参考)

【導入費用】(ハードウェア費用は含まれておりません)

- ・ 弊社でデータの登録や画面デザイン変更を代行する場合には、代行内容に応じた作業費が発生します。また、ソースコード修正を伴うカスタマイズが必要な場合には、その内容に応じたカスタマイズ費用が発生します。

【ライセンス費用】※ボリュームディスカウントあり

- ・ 基本ライセンス：1工場あたり、100,000円 / 1か月
- ・ アプリケーションライセンス：1ライセンスあたり、2,000円 / 1か月

3. 既存パッケージ製品の強化について

既存パッケージである「TABLET Communicator 検査集計」と「TABLET Communicator 作業記録」は以下機能を強化しております。

「TABLET Communicator 検査集計」の機能強化

- ・ タブレット付属またはUSB接続のカメラを用いて写真が撮影でき、必要に応じて不良情報と紐づけできる機能

「TABLET Communicator 作業記録」の機能強化

- ・ 飛ばした手順を後から実施することができる機能
- ・ 中断した作業を別タブレットで再開することができる機能
- ・ 入力が完了したら自動的に次の入力項目に入力カーソルが移動する機能
- ・ 飛ばした手順がある場合に、そのワークの作業完了時に完了確認のメッセージが表示される機能

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社タイテック
担当：住吉、丹羽、中澤
電話：052-824-7373 FAX：052-824-7300
住所：愛知県名古屋南区塩屋町1丁目3番地4

* 掲載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。